

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールPFS		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 10日		R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R7年 12月 19日		R8年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内のチームワーク・法人内の他事業所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の理念・信念をしっかりとみんなで共有・浸透していく上で、子どもと保護者のニーズをしっかりと捉え、最善の利益をみんなで考えるようにしています。職員がお互いのコミュニケーションとお互いの考えを尊重していくことで、ベクトルを一つにしなが、職員の子どもに対する一貫した支援へとつないでいきます。 ・他事業所の情報や支援を借りながら、最善・最大の策を立てていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちに必要な研修をさらに企画し、それぞれの知識・技量を高めます。 ・他事業所の活動内容をさらに理解し、よりよい連携のあり方を考えます。 ・決められた機会だけではなく、こまめに情報共有・話し合いをし、本人主体の支援が引き続きできるように心がけます。
2	子どもや保護者のニーズをより正確にとらえ、利用者の立場に寄り添って支援を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で、子どもを取り巻く背景を考え、表面に出ている氷山の一角ではなく、他事業・関係機関と協力し、なるべくその子の全体像を多面的にとらえていきます。 ・その子のやりたいを、その子によりそってできる限り見つけ、その子に合った支援活動をしていきます。 ・子どもの育ってきた環境も含め、それまでの保護者の想いも、大切に尊重して受け止めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ケース会議を設定します。 ・個人情報の取り扱いには、十分配慮します。 ・子どもも、職員も、みんな対等であることを心において、人を動かすのは、最終的には人への思いなので、そのことを踏まえた行動を日ごろから心がけます。 ・職員が余裕をもって、良い支援ができるような働き方をします。
3	関係機関との積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの支援の中で、立ち止まってしまったときには、関係機関に積極的に相談し、子どもや保護者の思いをより深く理解し、どう支援したらよいか、相談して支援していきます。 ・子どもや保護者の一生を視野に入れながら、各相談機関と連携していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで抱え込まずに、個人情報に気を付けながら、相談できるところには、積極的に相談していきます。 ・協力してくれる関係機関をリストアップし、整理します。 ・学校とも、積極的に連携していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ事情が深いケースの保護者が多く、なかなか来所も難しい保護者や、話し合いを希望されない保護者も多いため、今の時点では、父母の会や保護者会等、保護者同士の交流は、難しいと考えております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時等に左記についてのニーズを保護者に確認した上で、必要に応じて開催を検討していきます。
2	家族支援プログラムや家族への研修	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等について、決められた日時に来所することが、ご多用なことや事情により難しいケースが多いです。 ・まだ、ニーズをきちんと確かめていないので、今後、検討し、企画していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムは、必要に応じて、実施していきます。 ・面談時等に左記についてのニーズを保護者に確認した上で、必要に応じて実施を検討していきます。
3	防災計画やBCPの保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画は、以前から作成しているが、公開はしていません。 ・避難訓練は月1回実施しています。 ・非常時の対応に関する書類は、今後周知の仕方を検討していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、ホームページ等に掲載という形で、防災計画やBCPを周知していきます。 ・防災計画やBCPの子どもたちに必要な情報は、わかりやすく視覚化して、掲示していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
アフタースクールPFS		R8年 3月 23日					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	0	・大きなテーブルなどイベント等にぎやかに過ごせる場所に加えて、ごろ寝やソファスペースなどの静かに過ごせる場所を設置し、利用者の要望に対応できる環境を用意しています。	より、季節感を感じるものや、植物やインテリアの導入。布団か毛布など、休める、いごごちの良い環境を作り出していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	0	・法に定められている人員は確実に確保しているが、個別対応を希望する利用者がある際などは不足と感ずるため、人員確保の為の予算拡充等の法改正を含めた改善が必要です。 ・当事業所の特性上個別対応を希望する利用者が多	決められた適正人数の配置はもちろん、ボランティアの方など継続して募集していくなど、なるべくきめ細かい対応ができるように努力しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	0	・識字が苦手な利用者も存在するため、図や大きな字を用いた掲示物を作成しています。 ・車いすの方にも対応できるよう、簡易スロープを常備しています。	子どもが、わかりやすく生活するための視覚的手立てや、ルールを知らせる環境を整えています。一目で見てわかる掲示物もさらに作成していきます。また、子どもの特性に応じた机の配置や環境を常に整え直していきます。簡易スロープは、いつでも出せるように準備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	0	・他の子どもやスタッフとにぎやかに過ごしたい子どもや静かに過ごしたい子どもがどちらも気持ちよく過ごせるように環境を整えている。また、近隣の公園等も活用できています。	生活空間は、常に清潔を心がけ、子どもたちにも衛生指導を継続していく。子どもたちの意思で、やりたいことを実践できる活動空間としていく。みんなで毎日掃除する時間をより広げていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	0	・利用者が希望する、または、こちらが必要と感じた時にはすぐ利用できるような環境を整えています。	本事業所で足りない時は、他事業所と連携して、より柔軟に子どもに対応できる環境を維持していきます。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3	0	・会議等で利用者の支援や業務遂行について意見交換をしている。従業員の一部がため込まないよう引き続き定期的な共有を今後も必要です。	目標を共有し、実践し、振り返り、次へのステップをどうするか、短いスパンや大きいスパンでやっていますが、これからも研修やミーティングをうまく活用しながら、常にきめ細かい連携を図っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	0	・保護者から要望があった際は都度会議等で共有し、改善案を検討しています。 ・本年度から配属になった従業員は把握していないこともありました。	情報共有を常に心がけ、ベクトルを同じにして、対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	0	・日々の関わりの中や会議などで管理者を中心に意見交換をする機会があります。	今後も常に事業内、他事業との情報共有や支援の在り方について、連携を有効に活かしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	1	・評価という目的で依頼したことはないが、外部機関が相談や見学などで来所された際、指摘事項があれば会議等で共有し、改善を検討する環境は整えています。	第三者による外部評価はないので、これから作り上げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	0	・定期的に内部研修を行い、他事業間とも意見交換をおこなっています。また、社会福祉協議会等が主催する研修にも参加できるように情報を取得次第、従業員に共有しています。	常に必要な課題を、見つけ出し、検討し、自分たちの活動に生きます。自分たちの事業所をしっかりと見直し、何が必要かを考え、活かせる研修を打ち立てていきます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	0	・事業所内に掲示したり、メールリスト及び各利用者宅に郵送にて周知しています。	ホームページに挙げているので、スタッフや保護者、関係機関等、よりわかりやすい公表の仕方を考えていきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	0	・保護者や利用者からできる範囲で過去の生い立ちや家庭環境をヒアリングし、田中ヒネーやWISKなどの検査結果のコピーも参考にしながら作成しています。また、モニタリングに加えて、希望者には保護者及び利用者の定期的な面談を実施することにより、利用者の状況把握に努めています。	これからも、本人や保護者のニーズをしっかりととらえながら、子どもをよくみて、なるべく多くの情報を取り入れながら、より本人にあった支援を模索し、サービス計画を立てていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	0	・管理者と従業員が会議等だけでなく、日々の関わりの中で利用者が過ごしている様子を都度共有しあうことで、利用者の状況把握に努めています。	より、多くの関わる職員の情報を共有し、職員みんなが共通理解をし、最善の支援について協議し、一つの方向を向いて最善の利益を追求していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	0	・会議等だけでなく、日々の業務の中で都度確認する機会が提供されており、確認しながら支援にあっています。	子どもの状況を見ながら、職員で相談しながら、計画をもとに、その子にあった支援を模索していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	0	・当事業所が用意したアセスメントシートだけでなく、WISK等の発達検査の結果などを共有いただいています。また、常に利用者の状況を把握できるように、ICTの導入も行っています。	常に子どもの状況を、職員みんなが把握し、支援の在り方を確認しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	0	・利用者及びその家族に関わっている支援機関とも連携しながら、多方面から利用者や家族を支援できるような支援計画を作成しています。	これらも連携の変化によって内容が変化してくることが予想されますが、具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	0	・会議等で利用者や保護者のニーズを従業員同士で確認しながら活動プログラムを作成しています。	立案は、チームで行い、子どもたちの意見を、これからも、なるべく多く取り入れていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2	0	・その時の利用している子供たちの様子やニーズを把握しながら、活動プログラムを作成しています。	これからも子どもや職員の意見を取り入れながら、常に会議に挙げながら、作り上げていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	0	・現在契約中の利用者が個別活動を必要とする傾向にあるため、原則個別活動を中心に取り組み、その中で活動プログラムの参加の促しを通して集団活動を少しずつできるようにしています。	これからも、子どもの状況を見ながら、支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	0	・利用者の対応等で対面での打ち合わせが難しい際は、ICTを活用して打ち合わせを行うことで、チーム内の連携を測れるようにしています。	なるべく、人対人での共有をしていますが、難しいときは、ICTをうまく活用してチームで連携支援していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	0	・利用者の対応等で対面での打ち合わせが難しい際は、ICTを活用して打ち合わせを行うことで、チーム内の連携を測れるようにしています。	・利用者の対応等で対面での打ち合わせが難しい際は、ICTを活用して打ち合わせを行うことで、これからもチーム内の連携を測れるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	0	・従業員は毎日利用者の記録を入力する時間を確保されており、かつ、日々の記録を確認し、支援の検証や改善に努めています。	これからも継続していきます。常に支援の検証、改善に努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	0	・法に定められている回数は必ずモニタリングを行い、日々の記録や家庭での過ごし方を確認した上で、計画書の見直しを行っています。	法に定められたモニタリングを行ってはいるが、必要に応じてそれとは別に、モニタリングをしています。なにもなくても、モニタリングをしていくことも計画しています。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	0	・管理者が、従業員から当該利用者の状況をよくヒアリングした上で参加しています。	参加する職員には、必ず情報共有をしたうえで、これからも参画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	0	・関係機関との連携を重視し、多角的な視点で、利用者の最善を図っています。	現在、必要に応じて行っていますが、これからは、もっと柔軟に、もっと積極的に連携していきます。また、連携できる関係機関を整理していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	1	・管理者が、従業員から当該利用者の状況をよくヒアリングした上で参加しています。	参加する職員には、必ず情報共有をしたうえで、これからも参画していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	1	・該当者はおりません。	・今のところ、該当者はおりません。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	0	0	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	1	1	・児童発達支援センターではないが、民間の臨床心理士のスーパーバイズおよび助言を適宜受けています。	民間のスーパーバイズの相談を受けているが、回数を増やしていく予定です。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	0	3	・併設されている名古屋みらい高等学院の生徒や、地域の機関施設との交流を図っています。	・近くに居場所支援センターがあるので、必要に応じて利用・交流をしています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	0	・きめ細かい情報共有と共通理解を心がけています。	常に、子どもや親とのコミュニケーションをとり、これからもより良い支援に繋いでいきます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0	3	併設されている名古屋みらい高等学院の生徒や、地域の機関施設との交流を図っています。	近くに、居場所支援センターがあるので、利用・交流していきます。	

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	0	当法人内の必要な部署と連携しながら、説明を行っています。	引き続き当法人内の必要な部署と連携しながら、これからもわかりやすい説明を心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	0	確認機会は心がけています。	ニーズをしっかりとらえたうえで、確認していくことをこれからも続けていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	0	きめ細かい情報共有と共通理解を心がけています。	常に、子どもや親とのコミュニケーションをとり、これからもより良い支援に繋いでいきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	とても綿密におこなっています。	その時がチャンスなので、相談にすぐに応じ、共に考えていく支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	2	子どもの状況をすり合わせながら、支援の説明を行い、同意を得ています。	今後も、今のその子の状態にそった支援を心がけていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	0	・常に利用者の情報を把握し、何を求めているのか、何が課題なのか、どうしていくのか、性格に迅速に対応できるようにしています。	常に利用者の情報を把握し、何を求めているのか、何が課題なのか、どうしていくのか、性格に迅速に対応できるように、これからも心掛けていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	0	・法人が発行している広報誌を発信しております。	法人内での広報を活用することもあるが、安心・安全メールを使って、これからもネットワークの良い連絡をこころがけていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	0	・全職員に周知・徹底を図っています。	今後もとても慎重に配慮していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	0	・LD等に対応した情報伝達を行っています。	その子や保護者にとって、一番良い方法を常に模索していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	1	・昨年度、当法人10周年の記念イベントを行いました。	周辺近所の方に、この事業所の紹介や、協力について、チラシやパンフレットをもって、挨拶に回ったりするなどしました。これからも、地に足がついた地域連携をしていきます。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	1	・法人内にある危機管理チームの会議に定期的に参加し、それを当事業の会議内で共有し、安全に利用できるように努めています。	作成したものを、職員や家族等に、きちんと知ってもらう方法を考えていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	0	・月一回避難訓練を行っています。	作成したBCPについて、検討・改善していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	0	・アセスメントや定期面談にて適宜確認しています。	これからも、必ず事前、定期的に確認していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	0	・利用契約時や面談時、イベント案内時に利用者に確認しています。	これからも食物を扱うような場合には再確認や、契約時には、必ず確認・情報共有をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	0	・法人内にある危機管理チームの会議に定期的に参加し、それを当事業の会議内で共有し、安全に利用できるように努めています。	法人内にある、危機管理チームと、きちんと連携していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	0	・現在、安心・安全メールを活用していますが、組織取り組みについては、HP等を活用しています。	現在、安全・安心メールを活用していますが、組織取り組みについては、HP等を活用して、周知・徹底していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	0	・ヒヤリハットについては、研修も行っていきます。	ヒヤリハットについては、研修も含め、今後も再発防止に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	0	・法人内の研修や外部の研修に、積極的に参加し、理解に努めています。	法人内の研修や外部の研修に、積極的に参加し、これからも適切な対応ができるように努力していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2	0	・身体的拘束を必要とする利用者は現在在籍していません。	身体的拘束は、現在ありませんが、必要な場合には、必ず相談して支援計画に打ち出し、行う前には、子どもや保護者に十分説明し、了解の上で行うようにします。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
アフタースクールPFS		R8年 3月 23日				1		1	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもたちが、自由に活動できるスペースを確保できています。1階のフロア、個別面談室、屋外スペース、散歩等、気軽に活動できるスペースを用意させていただいています。いつでも見学できる雰囲気や環境作りに取り組みたいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		決められた適正人数の配置はもちろん、ボランティアの方など、なるべくきめ細かい対応ができるように努力しています。Vol.11 PFS広報誌にて職員紹介しましたので、ご一覧ください。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもが、わかりやすく生活するための視覚の手立てや、ルールを知らせる場等を整えています。また、子どもの特性に応じた机の配置や環境を整えています。音楽ロープは、いつでも見学できるように準備させていただいております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		生活空間は、常に清潔を心がけ、子どもたちにも衛生指導をしています。子どもたちの意思で、やりたいことを実践できる活動空間となっています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		広報で、スタッフのメンバーを紹介しました。また、より専門性の高い職員の確保・育成に務めて参ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		支援プログラムをもとに、支援計画や支援の在り方を常に検討しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもと保護者のニーズや、子どもの変化の観察、日々の子どもの情報共有、ケース会議、事業所会議をもとに、5領域を踏まえた個別支援計画を作成しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもや保護者のニーズをくみ取りながら、よりよい支援を目指して、計画しています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		事業所での、情報共有を大切にし、みんなの意見をすり合わせながら、計画を立て、支援の実践につないでいます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		年間計画を立てるときに、子どもやスタッフのやりたいを大切にしながら、活動プログラムを作成しています。支援プログラムの内容も、子どもの意見をなるべく取り入れることを理念としています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)		PFSのイベントで、地域や関連機関に案内していただいたり、「ポッチャ」で地域の大人と交流したり、地域の福祉施設やお寺との交流活動、地域の清掃をしたりなど、地域の方との理解と協力を得ながら、地に足をつけた活動を進めております。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		運営規程、支援プログラムについては、本年度の改定の部分もありましたので、より広く説明していきたいと思っています。利用者負担等についても、わかりやすい説明を心がけていきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもや保護者のニーズを確認しながら、支援内容の説明をしています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		家族支援プログラムや研修会については、よりご家庭に参画しやすい方を考えていきたいと思っています。また、情報提供については、ホームページやパンフレット等を充実活用して、より周知していきたいと考えています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		よりきめ細かい情報共有と共通理解を、これから心がけていきたいと思っています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		定期的な面談や子育てに関する助言等の支援は、それ以外にも必要に応じて行うように心がけています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		事業所の職員は、常にそれぞれの相手の立場でできることを本人や保護者と一緒を考えることを心がけるようにしています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)		父母の会や保護者会は、設定されておりませんが、これからの課題として取り組んでいきます。利用者だけではなく、その子をとって家族や環境を多角的にとらえ、助言等の支援を行っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		常に、お子さんと家族に寄り添い、状況に応じて必要な場合には、職員全員でチームを組んで対応にあたるようにしています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		必要な時だけではなく、負担にならないように、日ごころから、コミュニケーションを積極的に取っていきたくて考えています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		毎月1回、子どもの様子を記載した報告書を各家庭に郵送にて送付させていただきます。定期的に会報やホームページ等については随時更新させていただいています。自己評価の結果は年1回ずつポスターに掲載させていただいています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		個人情報については、管理・情報共有について、職員間で、徹底しています。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1階の入り口にマニュアルを掲示し、必要時には、安心安全メール等で随時保護者様に連絡し、迅速な対応を心がけています。マニュアルについては、お知らせする方法を考えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	月1回定期的に避難防災訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	各月の訓練で、避難経路や、災害などが起きた時の対応について、指導している。また、防災計画と災害が起きてからの事業所運営の対応策「BCP」を作成している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	事故等が発生した際には、速やかな連絡・最善の対応を心がけ、状況等の説明をするように心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	こどもが癒される場所・安心できる場所を前提とし、その子らしさが活かされるよう、最善の支援を考えています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	子どものやりたいを大切にし、その子に必要な療育を心がけています。子どもの得意分野が増えるよう、育つよう支援しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	常に子どもご家族のより良い幸せのために、共に支援を考えていくように心がけています。